| 科目名 | ビジネスプラ | 年度 | 2025 | | | | | | |
|-------|---------------------|----|------|------|----|------|------|-----|-----|
| 英語科目名 | Business Planning 2 | | | | | | | 学期 | 後期 |
| 学科・学年 | 情報ビジネス科 2年次 必/ | /選 | 選 | 時間数 | 90 | 単位数 | 6 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 藤岡 喜美子 | | 教員の領 | 実務経験 | 有 | 実務経懸 | 険の職種 | 公益社 | 団理事 |

【科目の目的】

この科目の目的は、与えられたテーマに関して議論し、メンバー間で協力して成果物を作成し発表するスキルを育成することです。学生はコミュニケーション力、リーダーシップ力、プレゼンテーション力などを向上させながら、グループワークを通じてビジネスプランを計画し、実行できる能力を養います。

【科目の概要】

この科目では、与えられたテーマについてグループで協力し、ビジネスプランを計画し、成果物を作成し発表するスキルを 学びます。ディスカッション、プレゼンテーション、リーダーシップなどのスキルを発展させることで、実践的なビジネス シナリオに対応できる準備を行います。

【到達目標】

グループワーク コミュニケーション力 リーダーシップ力 プレゼンテーション力 解決力

【授業の注意点】

この授業ではグループのメンバーとして、自ら積極的に協力し合い成果物を完成させなさい。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席 しない者は試験を受験することができない。授業の進捗により授業内容が前後する場合もある。開講時間が変更になる場合 もある。

| 評価基準=ルーブリック | | | | | | | | | |
|-------------|--|-------------------------------------|--|-----------------------------|---|--|--|--|--|
| ルーブリック | レベル 5 | レベル4 | レベル3 | レベル2 | レベル1 | | | | |
| 評価 | 優れている | よい | ふつう | あと少し | 要努力 | | | | |
| 到達目標 A | テーマに対しての議 論や発表を通じて、 メンバー間で意見統 一が図られ、協力し て作業が進行する | 端く光級を通じて、 メンバー間で意見統 一が行われ、協力し | テーマに対しての議 論や発表が行われ、 メンバー間での協力 が見られる | や発表が限定的であり、メンバー間の協力や意見統一に課題 | テーマに対する議論 や発表が不十分であ り、メンバー間の協 力や意見統一がほと んど行われていない | | | | |
| 到達目標 B | | じて、コミュニケー ションが円滑に行わ れ、メンバー同士の | 発言や意見交換を通 じて、コミュニケー | 定的であり、コミュ ニケーションの質や | 発言や意見交換が不 足しており、コミュ ニケーションがほと んど行われていない | | | | |
| 到達目標 C | グループの進行や方 針決定をリードし、 メンバーを統率して 作業を進める力が発 揮される | 針決定をリードし、 メンバーを統率して 作業を進める力が見 | 針決定に対して積極 的にリーダーシップ | 揮が限定的であり、 グループの進行や方 | リーダーシップの発 揮が不足しており、 グループの進行や方 針決定が困難である | | | | |
| 到達目標 D | 情報を伝えることが | り、聴衆に対して情 | 聴衆に対して情報を 十分に伝えることが | | 聴衆に対して情報を 適切に伝えることが | | | | |

| 到達目標 | して、問題の解伏方 法やアクションプラ | 発表内容や議論を通 じて、問題の解決方 法やアクションプラ ンを適切に示すこと ができる | 法やアクションプランをデオニトができ | クションプランの提案が限字的でなり | 問題の解決方法やア クションプランの提 案が不足しており、 適切な対策がほとん ど示されていない |
|------|------------------------|--|--------------------|-------------------|--|
|------|------------------------|--|--------------------|-------------------|--|

【教科書】

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| | 科目名 | 、演習のいすれかを記 <mark> </mark> | | ビジネスプラン | ノニング 2 年度 | 20 |)25 |
|------------------|---|---------------------------------|-----------------------------|----------------------|------------------------------|--------------|------|
| | 英語表記 | Business Planning 2 学期 | | | | 朝 後 其 | |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | | 授業内容 | 到達目標=修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| | | ビジネスプランニン | 1 | ビジネスプランの概要 | ビジネスプランニングの基本的な理解 | | |
| 1 | ビジネスプラン ニングの基礎 | グの重要性を理解 し、基本的な要素を | 2 | 要素の説明 | | 3 | |
| | 2 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 3 2 | 学ぶ | 3 | 成功事例の紹介 | | | |
| | | ビジネスプランの | 1 | テーマ選定のポイント | テーマの選定とアイディア出しのスキル | | |
| 2 | テーマの選定と アイディア出し | テーマ選定とアイ ディア出しの方法を | 2 | アイディア出しのワーク ショップ | | 3 | |
| | | 学ぶ | 3 | | | | |
| 3 マーケットリ サーチ | | の里女にとすり、剛 | 1 | 調査方法 | マーケットリサーチの基本的なスキル | | |
| | マーケットリ サーチ | | の重要性を学び、調 | を学び、調 2 競合分析 | | | |
| | | 査手法を理解する | 3 | 市場の分析 | | | |
| ターゲット顧客 4 の特定 | 正し、ニースや晏氷 | 1 | ターゲット顧客のプロファ イリング | ターゲット顧客の特定とニーズ分析のスキル | 3 | | |
| | | 2 | 顧客のインタビュー | | | | |
| | ,,,_ | を理解する | 3 | | | | |
| | 問題分析とソ | 問題分析とそれに対し | 1 | 問題の特定 | 問題分析とソリューション提案のスキル | | |
| 5 リューション提 | するソリューション | | ンリューション ₂ 解決策の検討 | | 3 | | |
| | 案 | 提案の方法を学ぶ | 3 | プレゼンテーションの練習 | | | |
| | ビジネスモデルの構 | 1 | ビジネスモデルの要素 | ビジネスモデルの構築と収益モデルのスキル | | | |
| 6 | ビジネスモデル の構築 | 築方法を理解し、収 | 2 | 収益モデルの選択 | | 3 | |
| | | 益モデルを設計する | 3 | | | | |
| | د شد مد د شد | トタイプとしてアタイプの作成 生 生験の計画を実施し | 1 | プロトタイプのデザイン | プロトタイプ作成と実証実験のスキル | | |
| 7 | 7 プロトタイプと 実証実験 | | 2 | 実験の計画と実施 | | 3 | |
| 3 1 | | | | | | | |
| | | ユーザーからの | 1 | フィードバックの収集方法 | フィードバック収集と改善のスキル | | |
| 8 フィードバック の収集と改善 | 、ック カードバックの収 | 2 | 改善のプロセス | | 3 | | |
| | | 集と改善方法を学ぶ | 3 | | | | |
| | | デネスプラン ボジネスプランの要素をまとめて作成する方法を学ぶ | 1 | ビジネスプランの構成 | ビジネスプランの作成とプレゼンテーションのスキル | | |
| 9 | ビジネスプラン の作成 | | 2 | プレゼンテーション 資料の作成 | | 3 | |
| | | - 7.1 (E. G.) 19 | 3 | | | | L |
| | | グループワークと協力 | 1 | | グループワークとコミュニケーションスキルのス キル | | |
| | | クルーフリークと協力 | 1 | 践 | キル | | ١ |

| 10 | クルーフリーク と協力の重要性 | の重要性を理解し、 チームでの作業能力を 向上させる | 2 | コミュニケーション スキルの練習 | | 3 | | | |
|----|---|----------------------------------|-----------|-----------------------|---------------------------|------------|--------------------|--|--|
| | | MICES | 3 | | | | | | |
| | 0 | ビジネスプランを効 | 1 | プレゼンテーションの基本 | プレゼンテーションスキルと視覚的な資料作成のスキル | | | | |
| 11 | プレゼンテー ションスキル | 果的にプレゼンテー ションする方法を学 | 2 | 視覚的な資料作成 | | 3 | | | |
| | | Š | 3 | | | | | | |
| | ビジネスプランの発 | 1 | 発表のストラクチャ | 発表準備とプレゼンテーション最適化のスキル | | | | | |
| 12 | ビジネスプラン 発表の準備 | 表準備を行い、プレ ゼンテーションを最 | 2 | 練習とフィードバック | | 3 | | | |
| | 3 - 2 2 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 | 適化する | 3 | | | | | | |
| | | ビジネスプランを発 | 1 | プレゼンテーションの実施 | プレゼンテーション実施とフィードバック収集のスキル | | | | |
| 13 | ビジネスプラン 発表 | 表し、メンバーから のフィードバックを | 2 | フィードバックの収集 | | 3 | | | |
| | 222 | 受ける | 3 | | | | | | |
| | | | 受けたフィードバッ | | 1 | フィードバックの分析 | フィードバック分析と改善計画のスキル | | |
| 14 | フィードバック の分析と改善 | クを分析し、ビジネ スプランの改善点を | 2 | 改善計画の策定 | | 3 | | | |
| | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 特定する | 3 | | | | | | |
| | ビジネスプラン | プラン 授業全体を振り返 | 1 | 授業の振り返り | ビジネスプランニングへの理解の深化 | | | | |
| 15 | ニング2の振り | り、ビジネスプランニングに対する理解 | 2 | 個人的な学びの共有 | | 3 | | | |
| | 返り | を深める | 3 | | | | | | |

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった

備考 等